

ミヤコシ

（株）ミヤコシ（千葉県習志野市津田沼、宮原社長、047-43-3304）は、このほど、基材厚み12.300μmの軟包装フィルムを対象とした小ロット印刷を可能にする水溶性インク印刷機「VPP13WL」を開発した。独自開発により、間欠式でありながら薄型フィルムでも高い印刷精度で、毎分300部といった高速印刷を実現する。同社は3月18日から20日、秋田県大田市の宮原精機（株）工場で開催した「OPEN HOUSE 2019春」で新機種を初披露し、実演を行った。

VPP13WLは、国研 新機種は、印刷工程における環境負荷の軽減と省エネを実現する新エネルギー・省エネ技術の導入による。従来の「VPP13WL」に比べ、印刷速度が約1.5倍向上し、印刷精度も向上している。また、印刷速度の向上に伴って、印刷コストも削減されている。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。



新しい軟包装向けソリューションとして開発された「VPP13WL」。独自開発の間欠送り機構を搭載することで、薄型フィルムへの印刷に対応する（上）。3月の「OPEN HOUSE 2019春」で初披露され、デモンストラレーションで来場者の注目を浴びた。



業務負担と大幅な時間短縮化を実現する「VPP13WL」。印刷精度は330μmで、ナローウェブ向け印刷部は6mm以下、CMYKは6色フルカラー、白の2色印刷も可能。また、白の2色印刷も可能。また、白の2色印刷も可能。

軟包装用水なオフ間欠機開発

独自機構搭載でPET12μmの薄型基材にも対応

このため、食品やトイレットペーパーなどの分野で需要を伸ばして、2018年の軟包装市場は前年比1.1%増の8640億円となり、過去4年間で連続して順調に成長を遂げている。同社では、近年の傾向として、環境対応や高品質な印刷を実現するための高品質な印刷機を開発している。VPP13WLは、水溶性インク印刷機として、PET12μmの薄型基材にも対応している。また、印刷速度も向上している。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。

従来設備に新たな役割

メーカー「次の一手」

ナビタスビジョン

設立から8年が経過した4月1日、新たな社名で再出発を果たしたナビタスビジョン（株）（横浜市港北区新羽町、辻谷潤一社長、045-770-0884）は、創業から10年を待たず販売台数1000台を達成した同社検査装置のコアコンポーネントが、独自の検査プログラムで構成する高速高精度検査ソフトウェア「ナビタスエディタ」だ。その次世代版と位置付ける画像検査システム「ナビタスVision（アスミルビジョン）」の新バージョン「V2.0」が、このほど発表された。

ナビタスエディタは、従来の検査装置と異なり、検査対象物の形状や材質に依存せず、検査プログラムを変更することで、異なる形状や材質の検査が可能になる。また、検査速度も向上している。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。

「V2.0」の特長として、検査速度の向上、検査精度の向上、検査プログラムの柔軟性などが挙げられる。また、検査装置のメンテナンスも容易になっている。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。

「V2.0」の特長として、検査速度の向上、検査精度の向上、検査プログラムの柔軟性などが挙げられる。また、検査装置のメンテナンスも容易になっている。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。



ナビタスエディタの画面イメージ。

業務改善の分析も次世代システム「V2.0」を上市

「アスミルビジョン」が見る検査のミライ。従来の検査装置は、検査対象物の形状や材質に依存して、検査プログラムを変更する必要があった。しかし、「アスミルビジョン」は、独自の検査プログラムで構成する高速高精度検査ソフトウェア「ナビタスエディタ」により、検査速度や精度の向上を実現している。また、検査装置のメンテナンスも容易になっている。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。

「アスミルビジョン」は、従来の検査装置と異なり、検査対象物の形状や材質に依存せず、検査プログラムを変更することで、異なる形状や材質の検査が可能になる。また、検査速度も向上している。同社は、今後も新機種の開発に取り組むとしている。

信頼を版にする 株式会社和光

和光印刷工業株式会社は、信頼を版にするという理念のもと、高精度な印刷を実現しています。また、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。

サービスに努めるゼネラルタック。ラベル原紙、各種粘着加工はゼネラルへ！

ゼネラルタック株式会社

Since 1969 Japan's Source In Labeling News

FUJIFILM Value from Innovation